

組織的に取り組む授業改善「みんな活躍授業」の実践

大分県教育委員会の授業改善の方針「新大分スタンダード」に基づく授業を深化・充実させるため、中津市では、市内全小・中学校で「みんな活躍授業」を推進しています。「中学校学力向上対策3つの提言」を核とした授業改善推進校である豊陽中学校では、「生徒の主体性を育む」「他者とつながる」という視点を大切に、本取組を実践しています。

中学校学力向上対策 3つの提言

- 1 「新大分スタンダード」に基づく組織的な授業改善の推進
- 2 各教科等の指導力向上の仕組みの構築
- 3 「生徒と共に創る授業」の推進

「新大分スタンダード」の詳細は、右のQRコードからご覧ください。



「みんな活躍授業」の重要ポイント

- 前時の振り返りから本時の見通しを持つ
- 「学びの手がかり」となるキーワードの提示
- 全員が表現する場面の設定
- 全員で考察し、共有する場面を位置付け

全ての教科で、「みんな活躍授業」を実践!

豊陽中学校における授業実践

【数学の板書】

「『学びの手がかり』となるキーワード」
既習の乗法公式を示し、支援が必要な生徒への手がかりとしています。

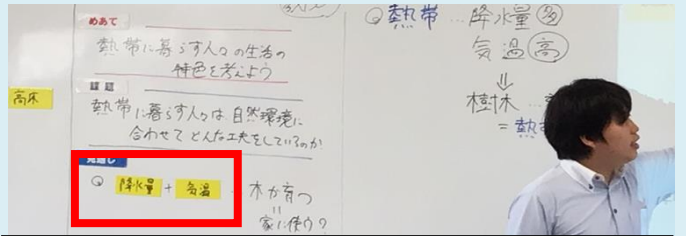
「前時の振り返りから見通しを持つ」
乗法公式を使って式を展開したことを振り返らせ、「 $2x$ を1つのまとまりとして考えればよい」という見通しを持たせています。

「全員で考察する」
全員で考察してつくった「まとめ」を共有します。



【英語】「全員が表現する」

できたことや分かったことを活用し、ペアやグループで全員が考えを表現する場面を設定しています。



【社会】「『学びの手がかり』となるキーワード」

まとめや振り返りで使えるよう「降水量」と「気温」というキーワードを示し、学びの手がかりとしています。

中津市内では「みんな活躍授業」を推進しているため、中学校入学後も、生徒はスムーズに授業に取り組むことができます。また、全ての教科で行うことで一貫性を持った授業を展開しています。豊陽中学校でも、このタテ（学年）とヨコ（教科）のつながりを大切にしています。